

報道配布資料

平成 23 年 8 月 25 日

所属名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連絡先
山口県立大学	学長 江里健輔 <small>えさとけんすけ</small>	共通教育機構長 松田 理 <small>まつだ おさむ</small>	地域共生演習担当教員 シャルコフ ロバート	083-928-3413 (携帯) 090-7122-3662
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、小野田、下関、長門、萩、 首都圏			

1 件名

高大連携によるやまぐち多世代交流・地域共生授業の展開
～山口市荒高地区「もりさま祭り」への参加（女みこし神幸の復活 5年目の挑戦）～

2 趣旨

平成 19 年度に、山口県立大学と野田学園高等学校の連携・交流事業の一環として、山口県立大学の共通教育科目「地域共生演習」を履修する学生たちが中心となり、山口市荒高地区「もりさま祭り」のみこし神幸を女みこしとして復活させる取組を行いました。

この取組は、以前、文部科学省の補助事業である現代 GP に採択された事業の一つとして行ってきましたが、当該 GP の事業期間が終了した平成 21 年度以降も引き続きその成果を継承して実施するものです。

本学や野田学園高等学校からみこしの参加者を募るだけでなく、祭り全体の企画・運営にも本学の若い力を導入するなど、地域の祭り及び伝統の存続・活性化のモデル的な取組となっています。

3 日時、場所

平成 23 年 9 月 1 日（木）

14 時 00 分～30 分 今八幡宮（山口市八幡馬場）にて神事

14 時 30 分 今八幡宮出発～ 堅小路 ～NAC（中市）をリヤカーでのみこし運搬にて神幸

15 時 00 分 商店街（中市～長寿寺）を女みこし・子どもみこし約 130 人が神幸
NAC にて祭りの由来についての紙芝居、その後、米屋町みずほ銀行前、
道門駐車場の 2 箇所のみこし・太鼓打ちのパフォーマンス

17 時 00 分 御旅所（長寿寺：山口市本町）到着

4 参加者

山口県立大学 学生 28 名 野田学園高等学校 生徒 35 名

女みこし：女子学生・生徒

子どもみこしの世話、みこし先導、太鼓打ちなど：男子学生・女子生徒

5 問合せ先

地域共生演習担当教員

シャルコフ ロバート 携帯電話 090-7122-3662

